

参加無料

職能交流集会 第一部 職能別交流集会

～保健師職能 交流集会～

自治体保健師と地域の看護職の連携・協働による 地域全体の健康・療養支援と仕組みづくり

2040年を見据え、少子高齢化や疾病構造の変化、療養の場の地域への移行等が進む中、健康増進や疾病の重症化予防などを含めた、地域全体の健康・療養支援体制の強化が求められています。今後の健康課題を見据えた時、“地域に必要な視点は何か”を共に考えます。

7/19(土)

対象

保健師資格を有する

全ての保健師

自治体、地域包括支援センター、産業、大学・専門学校等、所属は問いません。ぜひ、皆さまご参加ください。

11:00～12:30
(受付10:30～)

方法

集合・オンライン(Zoom)

場所

公益社団法人
東京都看護協会

講演

松本珠実氏 (日本看護協会 常任理事)

2040年以降の我が国においては、少子・超高齢化、人口減少のさらなる進展、高齢人口の質的な変化(困窮化や孤立化など)、健康格差の拡大、地方の行政・生活機能の弱体化が生じており、私たち保健師・看護職が対応しなければならない課題であることが分かっています。

そのような変化を踏まえ、“地域共生社会”の実現に向け、今後求められる看護活動の内容や取組のポイント等について、講演いただきます。日本看護協会の保健師職能委員も参加されます。

後半にはグループワークで地域の健康を支える保健師のみなさんと意見交換の時間を設けます。共に学び考える機会に、ぜひご参加下さい。

会場参加者には、
こちらの冊子をプレゼント!



お申込み・詳細はこちら

受付期間 : 7月15日(火)まで
会場定員 50人 オンライン 100人

公益社団法人 東京都看護協会

お申し込み・詳細はWEBで➡

<https://www.tna.or.jp/nurse/committee/conference/>

